

私たちは、地域の子どもの未来のために挑戦します。

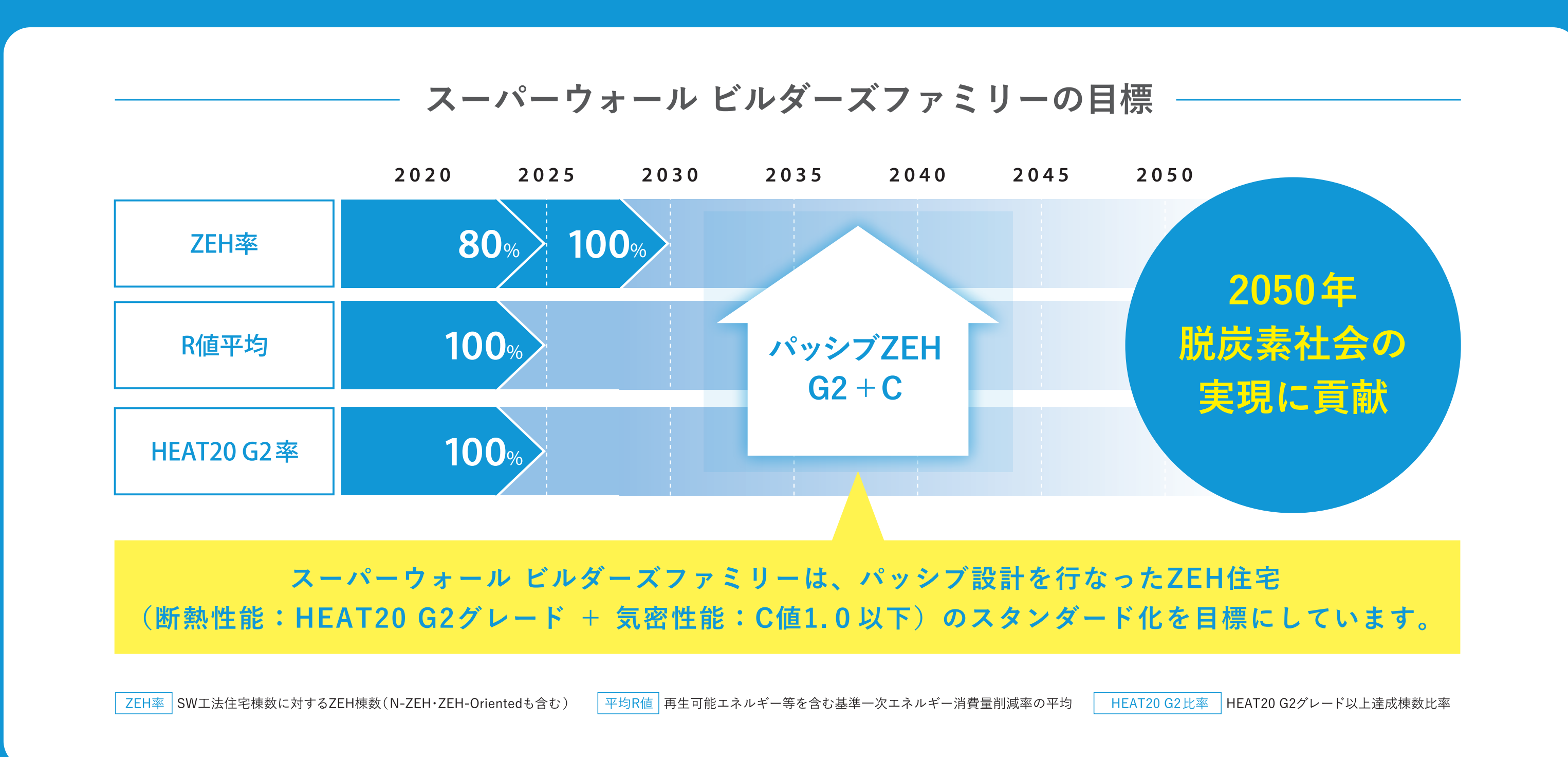
世界が抱える課題「地球温暖化」を解決するために、
私たちに何ができるのでしょうか。
スーパーウォールビルダーズファミリーは、2004年の発足以来、
省エネ住宅の先駆けとして高性能住宅を手がけ、進化を続けてきました。
そして、新たな一歩を踏み出します。
「2050年カーボンニュートラルへの挑戦」
「持続可能な社会を目指すSDGsへの貢献」
環境負荷の少ないゼロエネルギー住宅(ZEH)を進めることで、
温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする。
私たち一社がお客様とともに取り組み、地域から日本へ、日本から世界へ、
未来を創る地域の子どものために挑戦を続けます。



日本全国のスーパーウォールビルダーズファミリーの 新し取り組み

スーパーウォール カーボンニュートラル宣言！

脱炭素社会の実現を目指す「2050年カーボンニュートラル」における
CO₂削減目標（家庭部門）を達成するために、
私たちは2030年までに、高性能なゼロエネルギー住宅の建築率100%を目指します。



脱炭素社会の実現を目指す住宅 パッシブZEH G2+C ってナニ？

スーパーウォール
ビルダーズファミリー
推奨

環境に配慮しながら、健康・快適・安心・安全に暮らし続けられる家づくりのために

これからの住宅に必要な5つの基準

- POINT 1** **パッシブ**
夏涼しく、冬暖かく。
太陽などの自然のチカラを活かした省エネ設計。
- POINT 2** **ZEH(ゼッチ)**
断熱+省エネ+創エネで実現する、
ゼロエネルギーの暮らし。
- POINT 3** **G2**
健康・快適・省エネ住宅を目指す、
最高水準の断熱性能。
- POINT 4** **C**
住宅の高断熱化に欠かせない条件となる、
高い気密性能。
- POINT 5** **耐震等級3**
大地震から家族を守る。
建築基準法の1.5倍の耐震基準等級。

POINT 1
パッシブ 設計とは

パッシブ設計とは、なるべく冷暖房に頼らず、太陽の光や熱、風といった「自然エネルギー」を利用して、地球環境への負荷を少なく健康・快適な暮らしを目指す設計思想のことです。例えば採光計画の工夫で、夏は太陽の光を遮って涼しく、冬は取り入れて暖かい住まいに、太陽光の熱量は掃き出し窓1窓でストープ1台分に相当するとされています。

● 自然のチカラを活かすパッシブ設計

夏涼しく、冬暖かく暮らしには、設計の工夫も大切なんだね。

※掃き出し窓（1650x200サイズ：3.3㎡）にあたる太陽光の熱量は、1,000Wのストープ1台分に相当します。南面窓面積の目安を951W/m²として計算。地域によって異なります。

POINT 2
ZEH(ゼッチ)とは

ZEHとは、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略。家の断熱性能を向上させるとともに、高効率な設備システムにより、室内環境の質を維持しつつ大規模な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギー（太陽光発電システムなど）を導入することにより、家のエネルギー収支をゼロ以下とする、暮らしのエネルギーの自給自足を目指した住宅です。

● エネルギー収支をゼロにするネット・ゼロ・エネルギー・ハウス

省エネ + 創エネ - 必要エネルギー ≤ 0

● 政府が目指す、新築戸建て住宅のZEH化

2021年度 ZEH（ZEH-Overall）のZEH率 2020年度 2023年度 2020年度

※2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均でZEHの実現を目指す。※ハウスメーカー、工務店等が施工する新築戸建て住宅の過半数がZEHとなること。

POINT 3
G2 グレードとは

HEAT20 G2グレードとは、暖房の省エネ性と冬の体感温度を指標として推奨される外皮性能グレード。H25年省エネ基準の住宅から約50%の暖房負荷の削減効果があるとされます。また、冬の体感温度もおおむね13℃を下まわらないため、室内空気汚染（カビ・結露）の抑制、ヒートショックなどの温度ストレスも緩和されます。

● 最高水準の断熱性能

外皮平均熱貫流率(Ui値)の基準	地域区分						
	1	2	3	4	5	6	7
HEAT20 G1	0.28 (1.1)	0.28 (1.1)	0.28 (1.1)	0.34 (1.3)	0.34 (1.3)	0.46 (1.6)	0.46 (1.6)
HEAT20 G2	0.34 (1.3)	0.34 (1.3)	0.38 (1.4)	0.46 (1.6)	0.46 (1.6)	0.56 (1.9)	0.56 (1.9)
ZEH適合基準	0.4	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6
省エネルギー基準	0.46 (1.6)	0.46 (1.6)	0.56 (1.9)	0.75 (2.4)	0.87 (2.7)	0.87 (2.7)	0.87 (2.7)

災害時に暖房が使えなくなっても安心ね。

※「HEAT20 外皮性能グレードと住宅シナリオ」(2015年12月改訂版)より()内は住宅熱損失係数Q₁₀ [W/(m²・K)]に置き換えた場合の想定値
※HEAT20では、Q₁₀の基準は設定されていませんが、スーパーウォールではデュアルにおいても熱損失量の評価の行いやすいQ₁₀も目標設定しています。

POINT 4
C 値とは

C値（相当する開口面積）とは、「家にどれくらいのすき間があるのか」を示した気密性能の数値です。数値が小さいほうが性能が高いことを表し、気密性能が低いと上下温度差の原因にもなります。高性能住宅における気密性能の目安はC値1.0以下。私たちは全棟において気密測定を実施。性能報告書を作成し、お施主様にお渡ししています。

● 高性能住宅の条件となるC値1.0

見えない家のすき間を少なくするって重要なんだね。

エネルギーのムダが発生する気密比較

C=5.0 一般住宅
C=1.0 SW住宅

※実住宅の数値は、気密測定によって確認することができます。気密の数値は、床面積を120㎡として計算

POINT 5
耐震等級3とは

「パッシブZEH G2+C」に加え、暮らしの安心を確保するため、大規模地震への備えとして、耐震性能の最高等級である耐震等級3の設計を推奨しています。建築基準法の1.5倍の耐震性であり、消防署や警察署など、防災の拠点となる建物の耐震基準に相当します。ご家族や財産を地震から守る、より安全性の高い住まいを実現することができます。

● 地震から家族を守る、耐震最高等級

お家が防災対策と同じ耐震基準なら安心だよ。

耐震等級1 極めてまれに（数百年に一度程度）発生する地震でも倒壊しない程度の耐震性

耐震等級2 建築基準法の1.25倍の耐震性

耐震等級3 建築基準法の1.5倍の耐震性 消防署や警察署など防災の拠点となる建物がこの基準に相当します。

※ 耐震等級3の設計は、住宅会社で行います。プランや建築条件によっては、耐震等級3を実現できない場合もあります。詳しくは、担当の住宅会社にご相談ください。

スーパーウォール工法で、時代の先をゆく高性能住宅を。
スーパーウォールは、高性能なスーパーウォールパネルと高断熱サッシ、計画換気システムが生み出す、高気密・高断熱・高耐震構造の住宅です。「健康」「快適」「安心」「安全」を追求し、暮らしの質を最高水準にまで高め、理想的な住環境を実現します。

健康 HEALTH
快適 COMFORTABLE
安心 SAFETY
安全 SECURITY

SW SUPER WALL

